

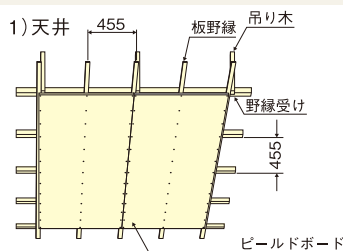


リブボード施工案内

壁材 Rib Board

不燃タイプ

1. 下地の加工



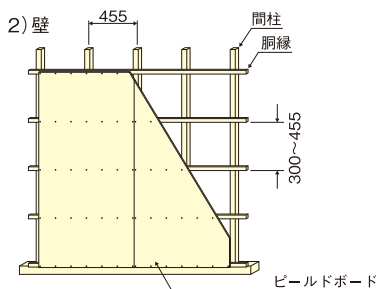
1-1天井:野縁受けは455mm間隔に組み、これと直交させて板野縁を455mm間隔に組んでください。

1-2壁:間柱は455mm間隔とし、これと直交させて胴縁を300~455mm間隔に組んでください。

2. 割付・施工

切断はボードカッター、丸鋸を用いています。

3. 取付



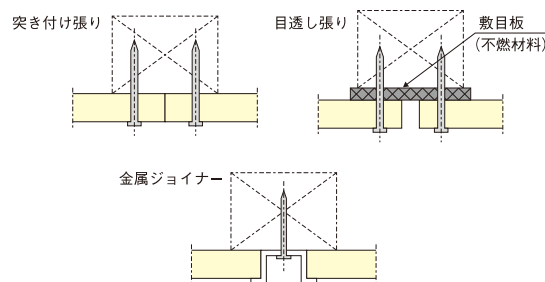
3-1: 釘打ち又はビス工法

亜鉛メッキ太平頭釘、カラー釘又はタッピングねじで取付けてください。
釘又はねじ打ちピッチは150mm以下としてください。

3-2: 接着工法(壁のみ)

酢酸ビニル系樹脂又は無機系接着剤を、下地に150mm間隔に点状塗布し、接着硬化剤まで仮押さえにより圧着してください。接着剤の塗布量は150g/m²とします。

4. 目地処理

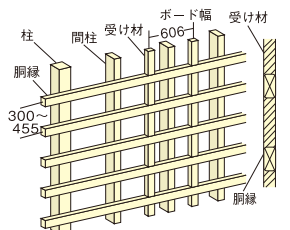


目地は突き付けを原則とします。目透しの場合は不燃材料の敷目板を敷くか、又は金属ジョイナーを使用してください。

合板タイプ

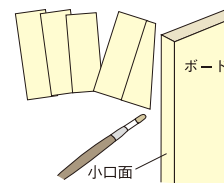
1. 下地の加工

- ※下地に含水率の高い材料を使用すると、突板表面がシミになる場合があります。充分乾燥した材料をご使用ください。
- ※石膏ボードか合板を使用する場合、胴縁は必要ありません。



下地材は、図のように組んでください。その時、受け材をボード幅606mmに合わせてください。または、下地材を石膏ボードか合板で仕上げますと、表面を平滑に仕上げられ簡単に施工できます。

2. 割付・施工



壁間や天井の長さを測り、ボードを仮並べて色・柄のバランス、収まりを確認してください。ボード幅は606mmです。まわりの色・柄と合いにくい場所は目立たない場所にご使用ください。ボードを切断して使用する場合は、小口面をボードと同じ色合いで塗装してください。



色・柄のバランスと納まりを確認したら、施工します。美しく仕上げるため、接着剤のみの施工をお勧めします。
(現地調達品)

接着剤: ゴム系または酢系



釘: 接着剤のみの場合=仮釘

接着剤と釘を併用する場合=釘頭が目立ちにくい、かくし釘やカラーネールをご使用ください。

両面テープと接着剤を併用する場合
●ボンドKU910 ●ボンドTMテープW1-20
または同等品をご使用ください。

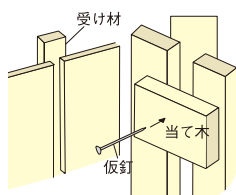
フィニッシュネールと接着剤を併用する場合
●ボンドPX2000 ●各種フィニッシュネール
または同等品をご使用ください。

フィニッシュネールと酢系接着剤を併用する場合
●ボンド木工用速乾またはボンドNEW CH18
●各種フィニッシュネール
または同等品をご使用ください。

3-1 《ボードを目すかしで施工する場合》

ボードを目すかしで施工します。受け材がボード継ぎ目部分にあることを確認してください。貼る際に、ボードの隙間が一定になるように、順序よく施工してください。接着剤のみで使用される場合は、接着剤が固まるまで仮止め用釘で固定してください。隙間部分から接着剤がはみ出た場合は、その部分が変色することがありますので、すばやく拭き取ってください。

目すかしの下地部分に市販のテープ(現地調達品)または色付けなどを施しますと美しく仕上がります。



3-2 《ボードを突き付け施工する場合》

ボードを突き付けで施工します。受け材がボード継ぎ目部分にあることを確認してください。順序よく施工してください。

接着剤のみで使用される場合は、接着剤が固まるまで仮止め用釘で固定してください。接着剤がはみ出た場合は、その部分が変色することがありますので、すばやく拭き取ってください。

天井材としての施工も同様に行ってください。

ボードの継ぎ目部分は、受け材があることをご確認ください。

